

新型コロナウイルス感染症拡大による施設基準管理への影響調査（自由記載）

「設問7. 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、施設基準を満たさなくなった、或いは、満たさなくなることが危惧される点数がある場合の原因はどのようなものか」との設問に対する具体的な記述

【北海道】

家族の発熱等で出勤停止の職員が出現するため。
自院外来からの入院を制限しているため。新規受け入れ患者で COVID-19 が否定できない場合は、個室もしくは個室に近い状態にして対応しているため、病床利用率が下がる。

【青森県】

スタッフ家族等に流行地域からの移動・接触ある場合一定期間出勤停止としているため
スタッフの感染や濃厚接触者となった場合、そのスタッフの勤務病棟において入退院の制限をかける可能性がある為

【岩手県】

新型コロナウイルス感染症患者受入れにより病床休止したため。
コロナ軽症者受入による必要度の低下。
対象患者の減
保健所の指示によりコロナ患者入院受け入れ医療機関となる可能性があるため。（一つの病棟しかないためコロナ専用病床となる。）
救急患者が減少したため

【宮城県】

手術の制限

【秋田県】

地域で陽性者が出た場合、職員が出勤を控えると人員基準が心配
無し
新型コロナウイルス感染の疑いなどでスタッフの休みが増えている
提示された原因すべて
救急車搬送数の減少等（診療制限に伴う）

【山形県】

※ 回答なし

【福島県】

設備不足のため
受け入れることによって上記選択肢のようなことが連動して発生し条件を満たさなくなることが想定されます。

【茨城県】

職員家族等が陽性となった場合、出勤停止を命じなければならない
派遣医師の派遣先でのコロナ発生により派遣停止があった
新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れる医療機関等への職員派遣
①家族の面会制限等により入院診療計画書、同意書のサインがすぐにもらえない。②院外からの来訪者若しくは院外への訪問による先方の制限等により、規定回数が未達になる可能性あり（入退院支援、地域連携診療計画加算、退院時共同指導料、介護支援等連携指導料等）
職員のコロナ疑い時の出勤制限等で
職員や家族が濃厚接触者となり自宅待機者が複数出た場合
施設基準上求められる年間実施件数や年間平均患者数を特に注視している

【栃木県】

発熱患者への対応に必要以上の時間をとられることから外来患者には明らかな影響がある
コロナの影響により退院先となる施設側の受け入れ制限等があり、退院調整困難となり、平均在院日数に影響が出る可能性がある

【群馬県】

研修が中止になり施設基準の要件が満たせなくなる可能性あり
併設通所リハ事業所でコロナが発生し、PCR検査外来を実施、医師看護師の不足が危惧された

【埼玉県】

発熱時等の体調不良スタッフをコロナ予防的に休業させなければならない場合
スタッフの休職増加
無症状の陽性者が入院。幸いクラスターにはならなかったが、もし院内感染等が生じた場合には施設基準が満たさなくなる恐れが現実味をおびてきている。
救急受入件数が依頼数も減ったが、コロナ受入病床も作ったために、一般病床を減らした分受入が困難となるケースも増えたため。
入院患者さんならびに看護職員に陽性者が出て、それに伴い濃厚接触者として認定された数名の2WKSの自宅待機のため
職員1名陽性→その後、後遺症のため休職中。 学校等の臨時休校に伴い、職員が休む。

【千葉県】

コロナが発生した場合入院受入がストップするため
持病や高齢のスタッフが多く退職者が多い
今後スタッフや家族がコロナに感染してしまった場合、人員確保が厳しくなる。
発生した場合に上記が原因となる可能性あり
救急搬送数減
コロナ感染症患者以外の救急搬送入院患者が急増し人員配置基準が満たさなくなる可能性がある。
スタッフが濃厚接触者となった場合や院内での感染者が出た場合、人員配置等、困難になると予測されます。
コロナ対応N'sを配置のため夜勤時間が増えているため

【東京都】

地ケアで受け入れの場合の送り先、60日越え
院内感染が発生した場合は人員配置基準は厳しくなります。
濃厚接触者として自宅待機となったため
回復期リハビリ病棟の入院中の患者が複数感染し、またリハビリ室職員も感染し、当該病棟の入退院などを一時休止した。そのためリハビリ実績指数の要件充足ができるか危惧されている。
退院調整に苦労している
一時的な停床による該当患者の減少
院内発生により濃厚接触者のスタッフを出勤停止にした場合、基準を満たせなくなる恐れがある。
新型コロナは感染の発生により一時的に入退院を止めた為。職員に感染者が発生したため
救急受入患者、手術対象患者減少
発熱やコロナ濃厚接触疑いによる人員の欠員

【神奈川県】

紹介元の病院で手術件数や外来、入院減少により、本来の治療患者が先延ばしになり、コロナ対応に追われ、照会患者数が減った
職員の発熱者には検査や自宅待機を行っており、人員配置が困難
紹介率の低下
疑似症患者の受け入れ増加への対応のため
スタッフに陽性者・濃厚接触者が発生した場合の人員の確保ができない

【山梨県】

新型コロナが職員又は患者に発生しクラスター化した場合に危惧される

【新潟県】

ベッドコントロールに支障をきたしている
PCR検査の人員配置のため
在宅への復帰が困難な事例が増えてきている。施設等への店員の際、新たな条件を追加され、速やかな転院ができないことがある。
新型コロナ感染症患者を受け入れる専門病棟を設けるため
休校等により、職員の子供の受け入れ先が見つからず勤務に支障が出た。濃厚接触者が職員に出た場合の勤務制限

【富山県】

連携機関が来院を控えているため

【石川県】

※ 回答無し

【福井県】

手術・検査の延期

【長野県】

- ・手術の自粛により前年実績要件を満たせない恐れがある。
- ・要件とされている院内研修の開催に苦慮している。

陽性者が多くなり職員の家族が接触者となり休むことが予想される。コロナ感染症から回復した患者を受け入れた場合、感染者と同様な負担が強いられる。差し迫った課題。

措置入院患者数の減少

保健所より入退院を中止するよう指導あり

- ・受入病棟へのスタッフシフト、スタッフの健康管理など
- ・夜勤看護師を多くするなど

救急搬送が減少

休日、夜間、時間外の救急患者が減り、重症度の高い入院患者が少なくなった。

【岐阜県】

連携医療機関との定期的な面談が困難となっている

【静岡県】

※回答なし

【愛知県】

職員に濃厚接触者がおおる、出勤停止等を行うため

O p e 後の入院患者が減り、回りハ患者が減る

発熱などでコロナ疑いの場合に検査結果が出るまで出勤させられない。また濃厚接触者となったために2週間出勤停止となった。保健所指示による

手術件数の抑制をしたため

濃厚接触者となり出勤できなくなった

【滋賀県】

近隣でクラスターが発生したときに一時外来・入院を止めた為

【京都府】

救急患者、緊急入院の減少

新入院が減少したため。職員が院外で濃厚接触者となったため

家族などで発熱、COVID19 検査結果待ち、休校休園等で出勤できないなどでスタッフの確保が困難になりかけた。

- ・病棟勤務看護補助者1名が陽性となり、濃厚接触者と判断された同病棟の看護師等に多数の自宅待機者が発生したため・時間外休日当の受診患者数について施設基準上の定めがあるが、こちらも受診控えと考えられる現象状況となっているため

近隣病院より障害者病床該当患者以外を受け入れているため

新型コロナウイルス陽性患者を受け入れる病棟に看護師を複数配置したためにもととの病棟の人員配置がきびしくなっている

経食エコーの実績数（TAVI 等の施設基準要件）、感染リスクの高い検査であることから、心エコー学会より制限がかかり実施件数が減少している

【大阪府】

入院患者の減少
当院介護施設のため
入院や転職者にコロナが含まれないかの不安
糖尿病透析予防指導管理料の「糖尿病教室の定期的な開催等」など、感染拡大防止の観点から 多人数対象とした研修の開催が難しい
仮に職員に感染者がはあ制した場合に人員確保など危惧があります
今後大阪府からの陽性患者等の受入陽性があった際に人員確保ができるかがわからない
集合研修・施設間研修の実施に支障をきたしている
感染・濃厚接触者が発生した場合の人員不足
救急患者数が減少したため
有事における出勤停止により運営への影響が懸念される。救急受入に制限が出る可能性がある
スタッフが感染した場合や濃厚接触者となった場合人員基準を満たせなくなる恐れがあります。
夜勤専従者が主たる勤務先より他病院で働くことを禁止いただいたため、夜勤専従者が減った。 72時間はかろうじてキープしている
手術延期の影響による重症者等の減
コロナ感染患者が広がってきたため、受け入れの可能性が出てきたため
分娩件数が減少したため

【兵庫県】

※回答なし

【奈良県】

※回答なし

【和歌山県】

和歌山県はまだそれほどコロナ感染が拡大していないが今後感染者が増加した場合、人員配置や夜勤時間数の基準について危惧している

【鳥取県】

新型コロナウイルス感染症入院病床として、一病棟を専用に確保することに伴い、院内の人員配置や入院、転棟等の調整が通常時と違いコントロールしづらいため

スタッフ及び同居家族の県外移動、接触者等のための勤務制限

【島根県】

※ 回答なし

【岡山県】

※ 回答なし

【広島県】

※ 回答なし

【山口県】

コロナに関連し、患者層が変化しているため

【徳島県】

※ 回答なし

【香川県】

万が一職員に感染者が出た場合、濃厚接触者等を自宅で待機させないといけないため、人員配置が満たせなくなることが出てくるのではないかと思います。

コロナウイルス感染拡大以降、職員に行動制限を課していることが離職の1理由となっている

職員の中で濃厚接触者や陽性者が発症しスタッフの確保が困難となる可能性がある為

手術件数が減少したため

【愛媛県】

スタッフは発熱等により自宅療養させることが多くなる

新たに雇用したくても従事者の応募がなく紹介会社すら紹介がない

転院患者の増加で在宅復帰率が低下するため

新型コロナウイルス感染症患者受け入れに伴うスタッフの配置換え等のため

【高知県】

看護師のかぜ症状、又、県外への外出、又、県会社の帰高等の時、14日間の休みをとらさないと感染があぶないため。

【福岡県】

手術等の減少に伴い重症患者が減っているから

職員がコロナに感染、もしくは接触者となった場合

救急搬入患者減少、時間外ウォークイン患者減少

スタッフに感染者が発生したため

救急車による発熱患者の受け入れを COVID-19 抗原検査キット導入までできなかった

【佐賀県】

※ 回答なし

【長崎県】

※ 回答なし

【熊本県】

救急受入減少

スタッフに濃厚接触者が多数出た場合

風評被害への懸念
感染症患者受け入れ医療機関への応援派遣をしているため
濃厚接触者を出勤停止にしたため
当院で対応できる患者層が重症度、医療・看護必要度の基準を満たさなくなった
家族等に感染又は濃厚接触者になった場合、職員の勤務が困難になる。病床が満床に近くなって起きており、慢性期の患者の退院が難しくなっている
発熱などの症状、行動歴、周囲の状況により自宅待機となる職員が発生するため
濃厚接触者が多くなった場合等
熊本で第一号の感染が職員であった。すぐ初期対応し、院内感染はなかったが、患者、家族が怖がって入院しない、外来来ない、退院はさせてもらえないなどが大きな問題
疑似症を受け入れているため
入院患者様のリハビリの質の変化

【宮崎県】

職員家族が濃厚接触者となったため陰性確認できるまで休みとなった
救急搬送の受け入れ困難による搬入数の減少

【鹿児島県】

院外での感染者との接触があり院内持ち込みにならないよう予防目的で休ませているため
コロナ患者受け入れによる重症度の低下

【沖縄県】

夜勤のナースの家族が感染した場合は満たせなくなる可能性がある
在宅系事業所への受け入れが難しくなった。急性期病院からの照会が激減した
現状では影響なし